

マタイ 55

主に選ばれた 者になろう

マタイ福音書22:1～14

王と披露宴のたとえ

Shikaoichurch.com

披露宴のたとえ

マタイ福音書22:1～14

■マタイ福音書22:1～4

イエスは彼らに対し、再びたとえをもって話された。

「天の御国は、自分の息子のために、結婚の披露宴を催した王にたとえることができます。

王は披露宴に招待した客を呼びにしもべたちを遣わしたが、彼らは来ようとしなかった。

それで再び、次のように言って別のしもべたちを遣わした。

『招待した客にこう言いなさい。「私は食事を用意しました。私の雄牛や肥えた家畜を屠り、何もかも整いました。どうぞ披露宴においでください」と。』

披露宴のたとえ

マタイ福音書22:1～14

■マタイ福音書22:5～9

ところが彼らは気にもかけず、ある者は自分の畑に、別の者は自分の商売に出て行き、残りの者たちは、王のしもべたちを捕まえて侮辱し、殺してしまった。

王は怒って軍隊を送り、その人殺しどもを滅ぼして、彼らの町を焼き払った。

それから王はしもべたちに言った。『披露宴の用意はできているが、招待した人たちはふさわしくなかった。

だから大通りに行って、出会った人をみな披露宴に招きなさい』

披露宴のたとえ

マタイ福音書22:1～14

■マタイ福音書22:10～14

しもべたちは通りに出て行って、良い人でも悪い人でも出会った人をみな集めたので、披露宴は客でいっぱいになった。

王が客たちを見ようとして入って来ると、そこに婚礼の礼服を着ていない人が一人いた。

王はその人に言った。『友よ。どうして婚礼の礼服を着ないで、ここに入ってきたのか。』しかし、彼は黙っていた。

そこで、王は召使いたちに言った。『この男の手足を縛って、外の暗闇に放り出せ。この男はそこで泣いて歯ぎしりすることになる。』

招かれる人は多いが、選ばれる人は少ないのです。」

聞いて分かりましたか？

なぜ分からないのでしょうか？

主イエスのたとえに学ぼう

たとえがわかりづらい理由

① 私たちには、当時の当たり前が、当たり前でない

➡ たとえの背景は、当時の人々には当たり前のこと
時代も文化も言語も違う私たちには当たり前でない

② 解説がないと分からない

➡ メシアの解説があって始めて意味が理解できる
なんとなく読めば、勘違いするだけ
➡ 直接の解説がない場合は？ 他の箇所ヒントが!!
聖書全体を理解している必要が!!

基本を押さえて、たとえに学ぼう

主イエスのたとえに学ぼう

① 当たり前を読む

～たとえの背景～

② 解説を聞く

～意味を理解する～

③ 適用する

～私の今につなげよう～



エルサレム神殿・再現図

神殿で最後の吟味を受けるメシア

- 過越の祭りで祭司のためにささげられる特別な子羊。
その**吟味の期間**、メシアは神殿で**最後の論争**を受ける。
- ニサンの月の10日に、エルサレム入城。
翌11日、宮きよめ。
- そして、12日、神殿での激しい論争が
パリサイ派、サドカイ派、律法学者、祭司たちと勃発!!

メシアの地上生涯最後の長い論争の一日の出来事



① 当たり前前に読む

～たとえの背景～

エルサレム神殿・再現図

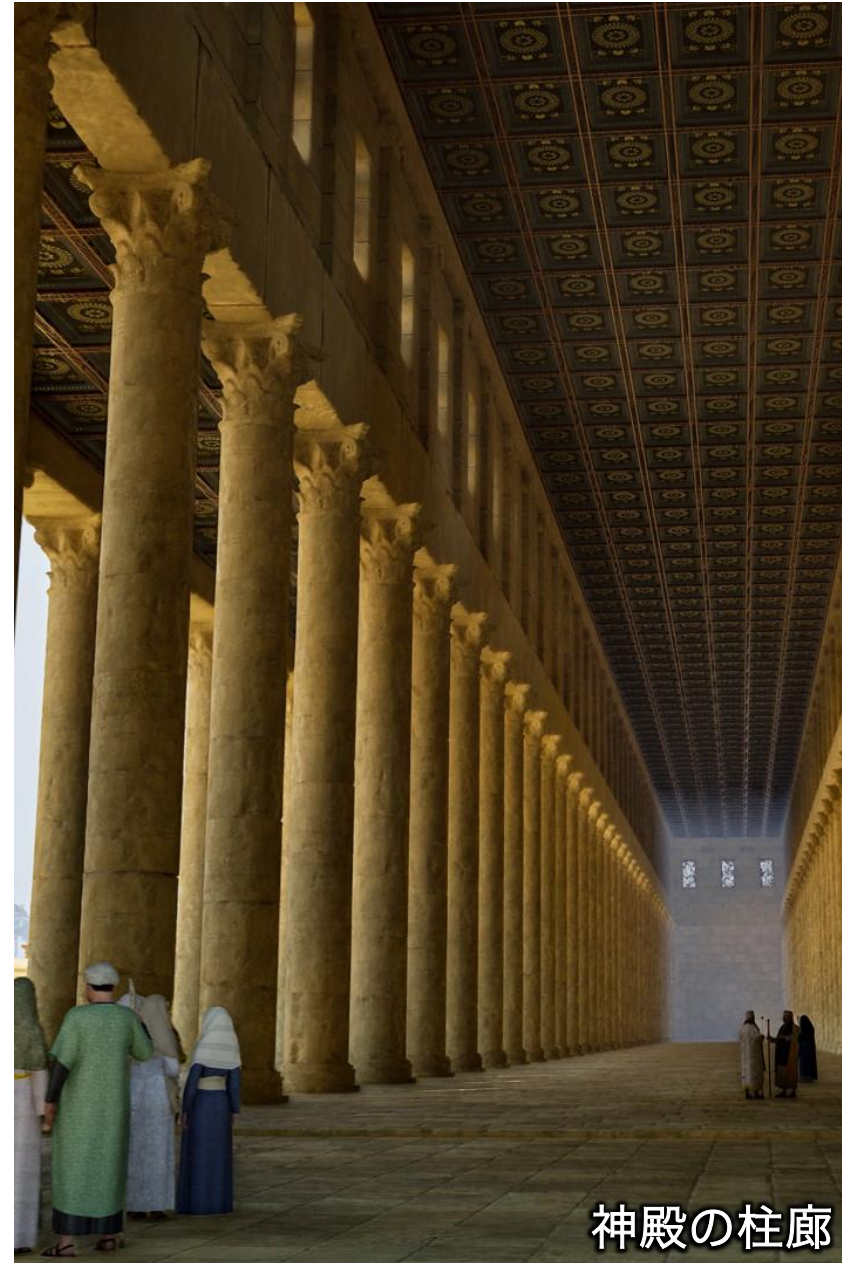
① 当たり前前に 再び マタイ22:1～2

イエスは彼らに対し、再びたとえをもって話された。

■ 前章では、ぶどう園の二つのたとえが。

■ メシアを拒絶した宗教指導者たちに、もはや真理が直接語られることはない。

■ たとえを理解できるのは、主を信じ、聞き従う信仰者だけ。



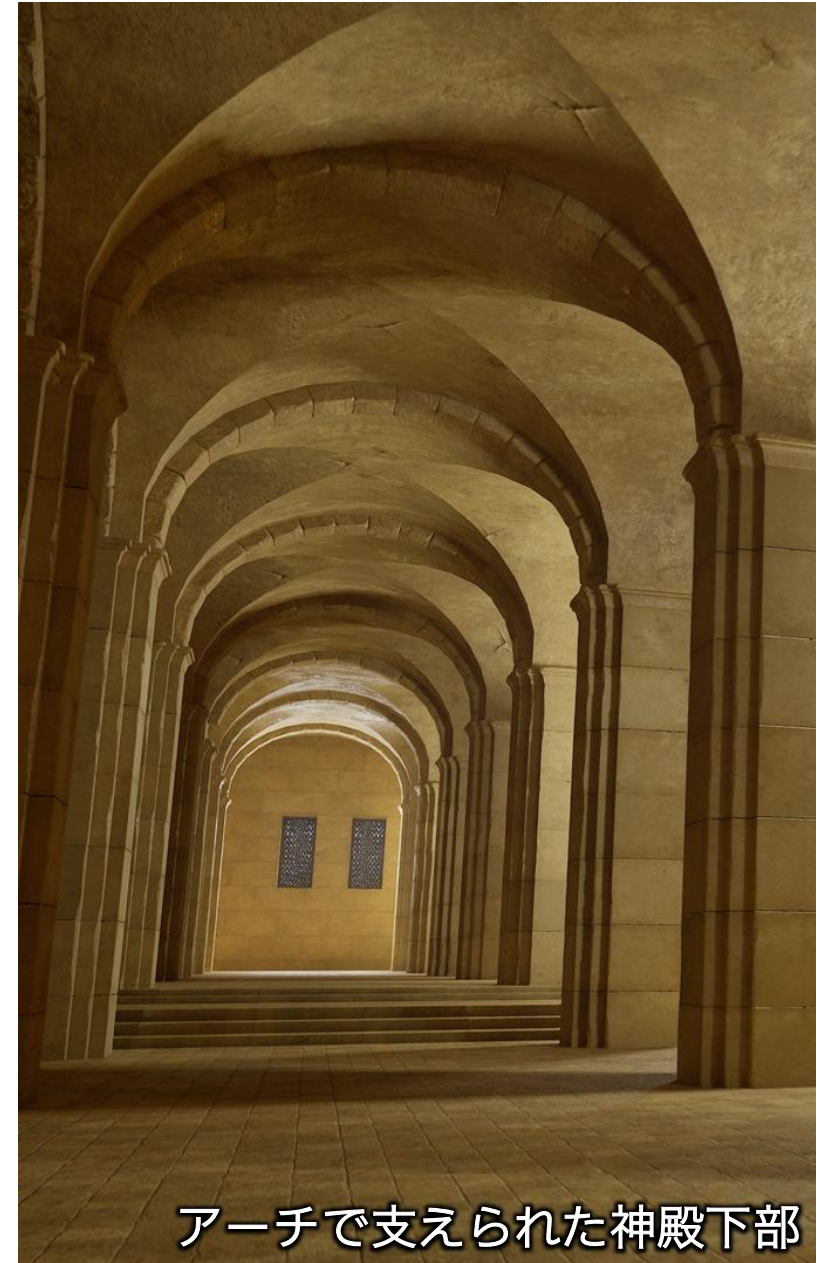
神殿の柱廊

① 当たり前 御国のたとえ 22:2～3

「天の御国は、自分の息子のために、結婚の披露宴を催した王にたとえることができます。王は披露宴に招待した客を呼びにしもべたちを遣わしたが、彼らは来ようとしなかった。

■ 聖書における王とは？

- ① 神が立てた絶対権力者
- ② 王からの招待は、
名誉の極み、絶対の命令



アーチで支えられた神殿下部

①当たり前 別のしもべ マタイ22:4

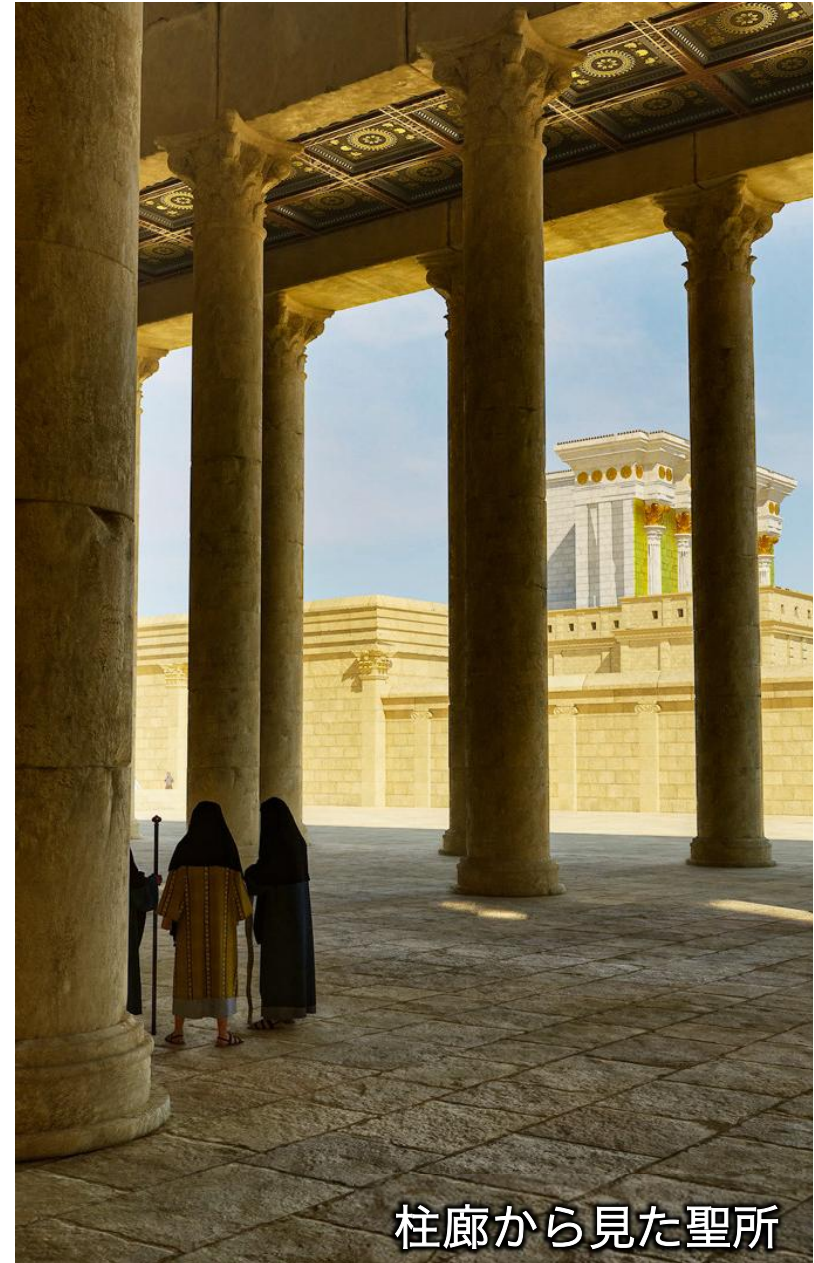
それで再び、次のように言って別のしもべたちを遣わした。『招待した客にこう言いなさい。「私は食事を用意しました。私の雄牛や肥えた家畜を屠り、何もかも整えました。どうぞ披露宴においでください」と』

■ 王の招待の拒否は、無礼の極み。

➡ 罰を受け、殺されても仕方ない

■ にも関わらず、王からの度重なる招待

➡ 招待客を異例の特別扱い



柱廊から見た聖所

① 当たり前前に 反逆 マタイ22:5～7

ところが彼らは気にもかけず、ある者は自分の畑に、別の者は自分の商売に出て行き、残りの者たちは、王のしもべたちを捕まえて侮辱し、殺してしまった。

王は怒って軍隊を送り、その人殺しどもを滅ぼして、彼らの町を焼き払った。

- 招待の拒絶自体、王への反抗の現れ。
- 王の使者を侮辱し、殺すことは、王に対する反逆、謀反。



神殿北側・隣接するアントニオ要塞

① 当たり前 新たな招待 22:8～9

それから王はしもべたちに言った。

『披露宴の用意はできているが、招待した人たちはふさわしくなかった。

だから大通りに行って、出会った人をみな披露宴に招きなさい。』

しもべたちは通りに出て行って、良い人でも悪い人でも出会った人をみな集めたので、披露宴は客でいっぱいになった。

■ 王の宴に、だれもが無条件に招待。

➡あり得ないこと!!



神殿西側の通り

① 当たり前 礼服 マタイ22:11~12

王が客たちを見ようとして入って来ると、そこに**婚礼の礼服***を着ていない人が一人いた。

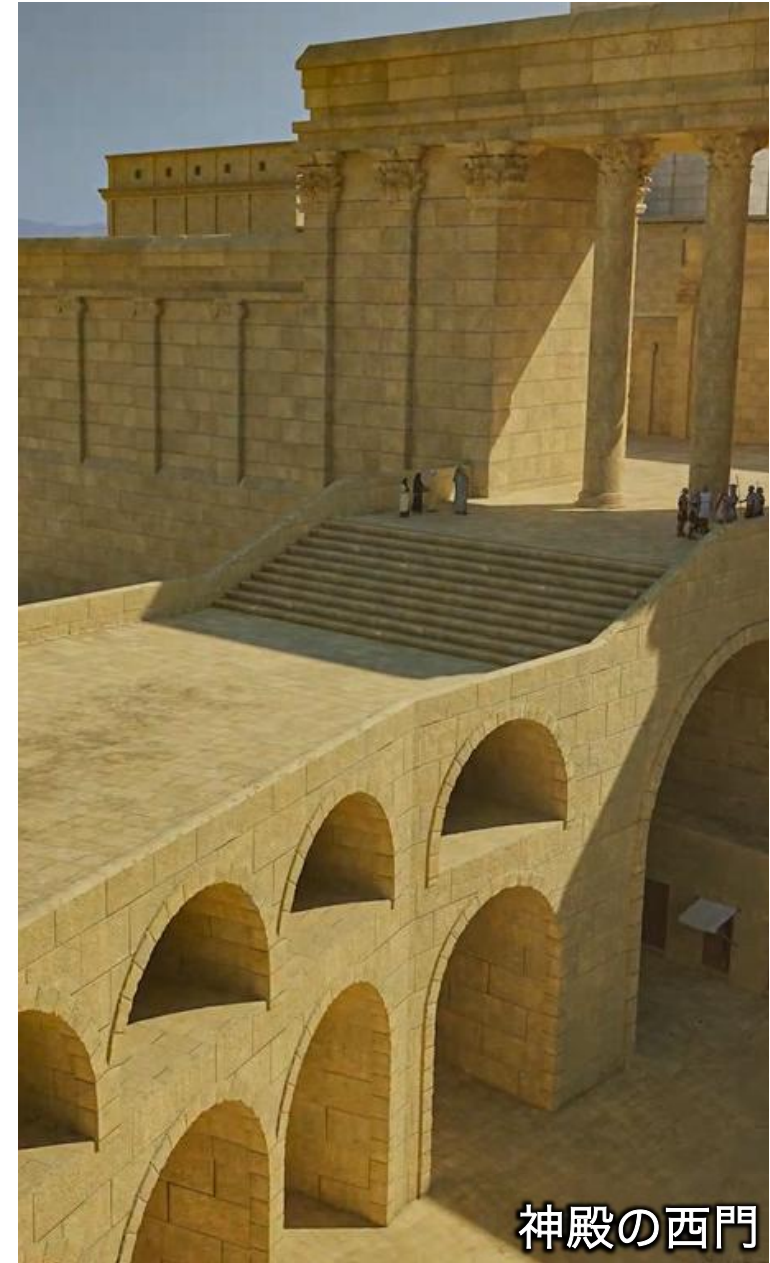
王はその人に言った。『友よ。どうして婚礼の礼服を着ないで、ここに入ってきたのか。』しかし、彼は黙っていた。

＊招待者が準備。

所持していない人は、着替えてから会場へ

■ あえて礼服を着ていない!!

➡ 王への無礼。反抗の明確な意思表示



① 当たり前前に 裁き 22:13～14

そこで、王は召使いたちに言った。

『この男の手足を縛って、外の暗闇に放り出せ。この男はそこで泣いて歯ぎしりする*ことになる。』

招かれる人は多いが、選ばれる人は少ないのです。」

＊終末の裁きの表現(5/6回はマタイ)

■ 通りから招かれた者たちでも、
裁かれる者がいる。



神殿西側の通り



②解説を聞く ～意味を理解する～

神殿の丘・再現図

- 説明がないと理解しがたいのが、たとえ話。
- このたとえには、主イエスの直接の解説がない。
- 弟子たちには、理解の手がかりは与えられているはず。

読み解くヒントは、類似したたとえに!!

②解説を聞く

披露宴のたとえ 読み解くヒント

■たとえを読み解く上で重要なのは、結末。

『この男の手足を縛って、外の暗闇に放り出せ。この男はそこで泣いて歯ぎしりすることになる。マタイ22:13』

■“泣いて歯ぎしりする”

…マタイに6回、ルカに1回(マタイと並行)

…いずれも終末の裁きのたとえの結末

メシアの語られる終末預言に注目!!

②解説を聞く “泣いて歯ぎしり”に至る 六つのたとえ

聖書箇所	内容・文脈	滅ぶ者
マタイ8:12 (ルカ13:28)	異邦人の百人隊長の 信仰の称賛	御国の子ら (不信仰のイスラエル)
マタイ13:42	毒麦のたとえ	毒麦 (神の国・教会内の不信仰者)
マタイ13:50	底引き網のたとえ	悪い者 (神の国・教会内の不信仰者)
マタイ22:13	披露宴のたとえ	礼服を着ていない者 (神の国・教会内の不信仰者)
マタイ24:51	留守番のしもべの たとえ	悪いしもべ (艱難を生き残った不信仰者)
マタイ25:30	タラントのたとえ	怠け者の悪いしもべ (神の国・教会内の不信仰者)

②解説を聞く

披露宴のたとえの流れ

①王が賓客を招待 → 無視 … 預言を無視

②準備後の再招待 → 拒絶・裁き … 捕囚、都の陥落
BC586 AD70

③無差別に招待 … 世界宣教

④礼服を着ていない者への裁き … 偽信者の裁き

律法時代

教会時代

律法時代～教会時代～大艱難時代～再臨まで

①律法時代

…預言者を無視、迫害 ➡バビロン捕囚
メシアを拒絶 ➡エルサレム陥落

②教会時代

…世界宣教(イスラエルと異邦人へ)
地上の教会には信仰者と不信仰者が。
➡不信仰者は、永遠の滅びに!!

「招かれる者は多いが、選ばれる者は少ない」



③適用する

～今のわたしにつなげよう～

エルサレム・神殿の丘

③適用

大きな意味をとらえよう

- たとえ話を理解するポイントは、
 - **主張の中心**をとらえること!!
 - たとえはたとえ。あくまで影、実体ではない!!
細部の意味を追うと、本筋からずれる

- 披露宴のたとえの**結論**は？

「招かれる者は多いが、選ばれる者は少ない」

主に選ばれる者になりなさい!!

③適用

主に選ばれるためにどうしたら？

■披露宴に招待される＝神の国に招かれるためには？

➡神の招待に応えること

①律法の時代には、律法・預言者によって招待

②教会時代には、キリストの律法・使徒によって招待

➡今の時代の招待状は、主イエス・キリストの福音

福音を信じた者は、神の国に招き入れられる

③適用

礼服を着た、真の信者になっている？

- キリストの十字架の死と復活の福音を信じて救われる。
- しかし、最大の問題は、信仰は目に見えないこと。
本当に信じているかどうか。神の目にしか分からない。
- 地上の教会には、信者と偽の信者が混ざっている。

どうしたら、真の信者だと確認できる？

③適用

実を結んでいるか？

- 信じた者には、聖霊が内住されている。
- 聖霊に満たされて行く。自分の思いを主に委ねて、私たちは、聖霊によって変えられていく。
- どうしようもない自分が、変えられて行っているか。誰かに伝道しているか。日々、喜びと感謝があるか。

信仰の実を日々結んでいっているだろうか？

③適用

招待された恵みの深さを味わい知ろう

■ 何の資格もない者を、主が招いてくださった。
主が、すべてを備えられ、招き入れてくださっている。

「私の雄牛や肥えた家畜を屠り、何もかも整いました。
どうぞ披露宴においでください」と。

■ 罪人の私のため、主が屠られたのは、愛するひとり子。
主イエスは十字架で死なれ、死を打ち破って復活された。

★ 主に選ばれた者になろう ★

- 資格のない私のため、愛する御子を十字架にかけられ、救いの御業を成し遂げられた、主の招待に応えよう。
- 「招待される者は多いが、選ばれる者は少ない」
この時代の教会の現実を重く噛みしめよう。
- 主の招待に応え続けていこう。御霊に変えられていこう。
主の招待状を携えて、世に遣わされて行こう。

「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

②墓に葬られ、

③三日目に復活されたこと、を信じます。

私たちは、主の招待にただ応えて、御国の永遠の民とされました。

喜びと感謝をもって、救いの確信を深めていく者と導いてください。

主の招待状を携えて遣わされます。主が道を拓いてください。

感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」